

ポリマーソリューション部門



部門長メッセージ

日本の石化業界は、中国のエチレン増産とカーボンニュートラル投資要請が迫る中、持続可能で成長性の高い産業への変革へ向け、30年に一度の変革期の入り口に立っています。各社は高付加価値化に取り組むほか、連携や再編の機運も高まっています。

業界の「地殻変動」ともいえる状況下、ポリマーソリューション部門では事業がサステナブルなものとなるように、抜本的構造改革を行っていきます。当社の特徴は原料のスチレンモノマーから下流の食品包材までスチレンチェーン全体の事業を運営している所です。

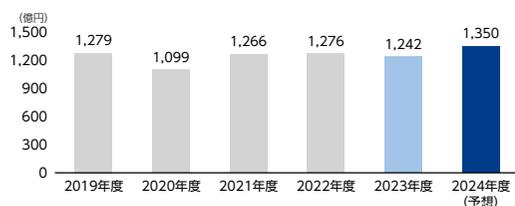
執行役員
ポリマーソリューション部門長

はら けい
原 敬

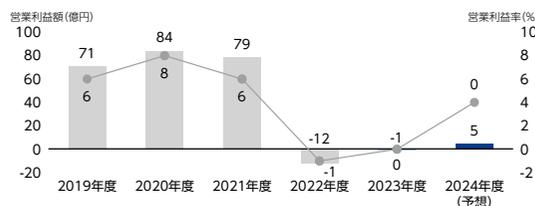
さらに2024年3月から新たにポリスチレンケミカルリサイクルプラントが稼働を開始し、サーキュラーエコノミーを推進する日本のトップランナーとなっています。生産拠点の大部分が国内最大需要地である首都圏の千葉県にあるという利点を最大限に活かす改革のデザインを考えています。

これに加え、「価格更正」「コストダウン」「販売最大化（販売先ポートフォリオ改革、新規開拓）」「抜本的な構造改革」が2024年度の重点課題です。

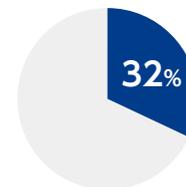
売上高推移



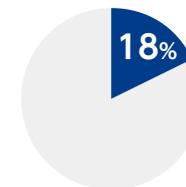
営業利益額/営業利益率推移



全体売上高(2023年度)に占める割合



全体売上高(2023年度)に占める人員割合



経営計画「Mission 2030」の目標達成に向けて

注力分野・マーケット

自動車 エネルギー産業 住宅・家電
食品包材 ヘアプロダクト

【主要製品】

- 高機能スチレン系樹脂 (MS、IP、ABS)
- 油田・ガス田掘削用、建材他特殊添加剤 (ポパバル)
- 建築材、フレキシブル空調材 雨どい、アルミダクト (デンカアステック)

- 高機能スチレン系樹脂 (クリアレン、MS、AS)
- 耐油性、高耐熱、高強度薄肉シート (BOPS)
- 機能性バリアシート
- ウィッグ・ヘアピース用原糸 (Toyokalon)

【2023年実績】

- ケミカルリサイクルプラントは2024年3月に稼働開始。(東洋スチレン・デンカ)
- 「ISCC PLUS 認証 (国際持続可能性カーボン認証)」の取得

- 高レンジ耐性を実現した耐熱・耐油BOPS「デュアルライト」の販売を開始
- 主流アイテム(三つ編みスタイル)に最適な高ボリューム・良感触原糸の上市

【2026年計画】

- 石化業界の趨勢を見極め、各事業のアライアンス等も視野に入れた運営形態の最適化を目指す
- ①スチレンチェーン構造改革
- ②ROICの向上
- ③地政学的リスクへの対応
- ④DXの推進
- ⑤新事業創出
- ⑥サーキュラーエコノミーの推進

【部門のビジョン(2030年 ありたい姿)】

- Portfolio transformation: ポートフォリオ改革、高付加価値化、新規事業創出、アライアンスの構築による企業価値の向上
- sustainable & Disruptive Innovation: 「スチレンチェーン、デンカの要素技術を最大限に活かしたイノベーション」および「M&A・外部リソース活用によるイノベーション」による新たな3つ星事業の創出
- Ahead to Green:
 - ・スチレンケミカルリサイクル
 - ・環境対応アイテムの推進
 - ・川上から川下、地域社会と連携したサーキュラーエコノミーモデルの構築

SWOT分析

- 原料生産から加工製品までの一貫した製造販売体制(スチレン系製品)
- 環境対応ニーズを捉えた、樹脂および加工製品の開発
- 国内・シンガポールの2拠点体制によるグローバルな事業展開
- ポリマー構造設計・制御技術およびシート、フィルム、合成繊維まで対応する多様な樹脂加工技術
- 素材および加工製品のシナジー効果とソリューション提案、新規開発力

強み **S** **O** 機会

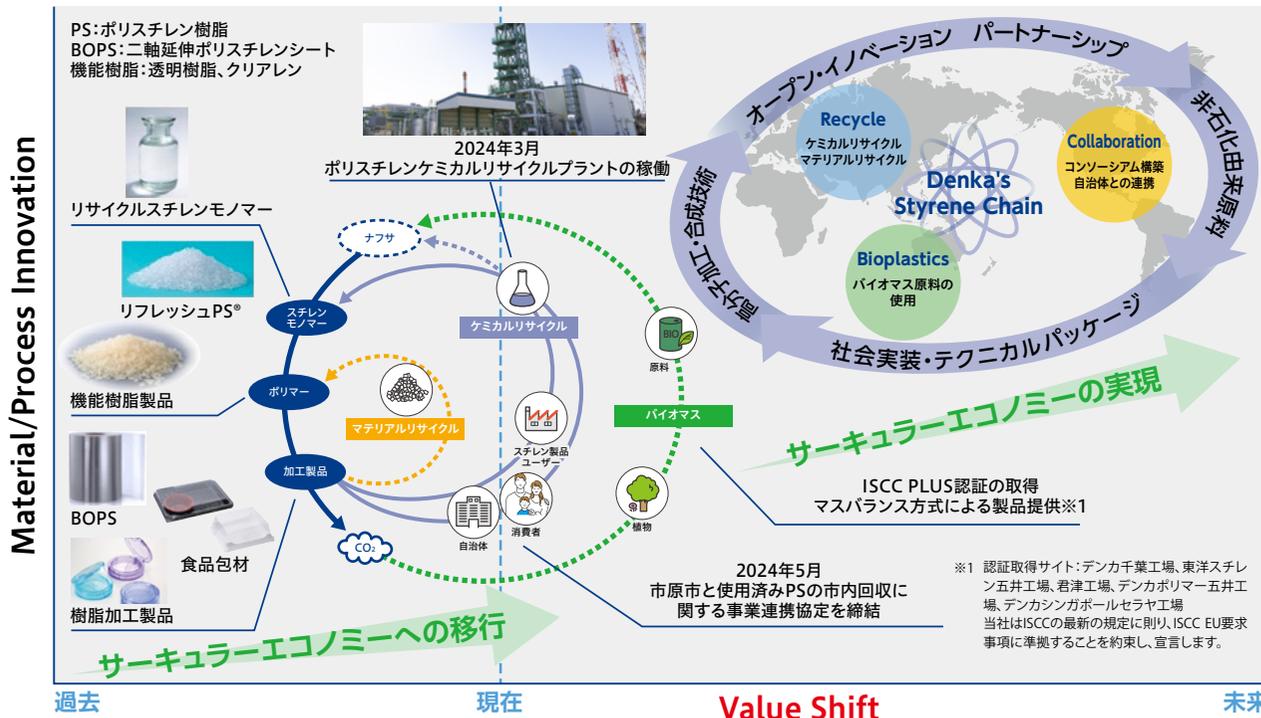
- 世界的な需給バランスの変化
- ナフサ、ベンゼン等の原料価格変動と製品価格転嫁へのタイムラグ

弱み **W** **T** 脅威

- 環境対応ニーズを捉えた、樹脂および加工製品の開発
- 資源リサイクルのトレンドに応える、原料から加工製品までの一貫生産体制の強みを活かしたリサイクルシステムの構築
- 多様な製品群による多用途展開
- 社会実装化に向けたポリスチレンケミカルリサイクルの実証プラントの稼働

- プラスチックの環境問題による需要の減少(特にワンウェイ品)
- 国内外競争メーカー製品の品質向上による価格競争の激化
- 各種原料調達不安定化(コストアップ、サプライチェーン)
- 世界的な石化業界再編

ポリマーソリューション全体のバリューシフト



事業を通じた社会への貢献

デンカグループはスチレンチェーンの特徴を活かしサーキュラーエコノミーの実現を通して新しい価値を世の中に提供します

当社のポリスチレンをはじめとしたスチレン系樹脂は、食品包材や、化粧品容器などの透明樹脂製品、液晶テレビといった様々な用途で活用され、豊かな社会の生活に欠かせない素材です。しかし近年、海洋プラスチック問題やカーボンニュートラルなど、環境に対する問題がクローズアップされるにつれ、ポリスチレンに向けられる要求はますます厳しくなっています。そのため、デンカと持分法適用関連会社の東洋スチレンは、新たな資源循環型のリサイクルシステムの構築が必要と考え、協働でケミカルリサイクルプラントの稼働を決定しました。2024年3月に千葉工場内のポリスチレンケミカルリサイクルプラントが稼働開始しました。

食品包材を中心とする使用済み容器(ポストコンシューマー材)や、シートや容器の製造工場(工程)から出る端材(ポストインダストリアル材)を回収し化学的に分解してプラスチック製品の原料として再生利用する新しい取り組みであり、サーキュラーエコノミー実現のための第一歩です。

この取り組みでは、千葉県市原市と事業連携協定を締結し、サーキュラーエコノミーの実現と地域社会の発展に貢献していきます。またデンカ、東洋スチレン、デンカポリマーのスチレンチェーンでのISCC PLUS認証を取得し、取り組みの実効性を高めていきます。

[将来の動き]

これまで当社素材の特徴を最大限に生かしたスチレン系樹脂製品の開発・販売に注力してきました。これまで培った基盤技術を活かしつつ、環境に配慮した製品開発、リサイクル技術の開発・社会実装を進め、サーキュラーエコノミーの実現に向けて、ステークホルダーの皆さまと共に、未来に進みます。